

2021.5.17

Report from
AKATSUKA PARK

赤塚公園武蔵野台地崖線植物モニタリング活動

みどりが黒くない 早くも梅雨模様の崖線



大門地区のいちばん東側の広場。梅雨の訪れが感じられる5/17、上を見上げると、この前まで鮮やかな緑をきらめかせていたケヤキの葉はもう黒々と夏姿になってモノクロの写



真を見ているようです。城址の本丸跡はシロツメクサが一面に咲き乱れていました。こんなに真っ白になったのを観たのは初めてです。ここは白が基調のモノトーン。

4/3にはニンソウとヤマブキソウがあんなに咲き誇っていた場所（写真左下）は薄暗く夏草が生い茂り、これが同じ場所だとは信じがたいほどの変わりようです（写真右下）。



梅雨が明けると、林はウバユリが林立し、ドクダミの花が白い絨毯を敷き詰め、ハグロソウ、ヤブミョウガが咲き始め、異なった風情を見せるでしょう。



←4/3

5/17→

樹の葉色の移り変わり



上の写真は**シロダモ**の若葉、4/19（左）はまだ葉色はついていません。5/3（中央）になると色がついてきて、5/17（右）は葉の形が出来上がってきました。ようやく葉緑素がつくれ炭酸同化作用（光合成）ができるようになりました。もうすぐ古い葉が落ちて新葉と入れ替わります。

薄暗くなった林で目立っているのは赤と白



<白い花>

左=**エゴノキ**の花

右=**サラサウツギ**

<赤い花や実>

左中=**イモカタバミ**

ミ

左下=**ナワシロイ**

チゴ（群落をつくって花もたくさんつけている姿を初観察）

下右=**ヘビイチゴ**の実（大門地区で生物多様性保全のために拡大した保護エリアの中に大きな群落が出現）



次回のモニリングは

5/31（月） 9:00 ため池公園

梅林下スタート

ただし、このご時世、コロナワクチンの接種予約が優先です。